

とりあげて特集しました。今後も関連情報がありましたら逐次掲載してゆきたいと思っておりますので、どんどん記事をお寄せ下さい。また次に挙げる文献は主として本文中に出てきたものですが、情報源として大いに活用していただけたらと思います。

“天気をおもしろくするための” 試みとして、今回のような特集企画を組みました。会員の皆様の御感想をお待ちしております。

文 献

- Bowman, K.P., *Geophys. Res. Lett.* **13**, 1193-1196, 1986.
 Chubachi, S., *Mem. Nat. Inst. Pol. Res. (Tokyo), Spac. Iss.*, No. **34**, 13-19, 1984.
 Chubachi, S., *Geophys. Res. Lett.*, **13**, 1197-1198, 1980.

Farman, J.C., B.G. Gardiner, and J.D. Shanklin, *Nature*, **315**, 207-210, 1985.

Hatakeyama, S. and M.-T. Leu, *Geophys. Res. Lett.*, **13**, 1343-1346, 1986.

McElroy, M.B., R.J. Solawitch, S.C. Wofsy, and J.A. Logan, *Nature*, **321**, 759-762, 1986.

(本文中に引用なし)

Solomon, S., R.R. Garcia, F.S. Rowland, and D.J. Wuebbles, *Nature*, **321**, 755-758, 1986.

Stolarski, R.S., A.J. Krueger, M.R. Schoeberl, R.D. McPeters, P.A. Newman, and J.C. Alpert, *Nature*, **322**, 808-811, 1986.

Tung, K.-K., M.K.W. Ko, J.M. Rodriguez, and N.D. Sze, *Nature*, **322**, 811-814, 1986.

Yamazaki, K., *Geophys. Res. Lett.* **13**, 1312-1315, 1986.

* また *Geophysical Research Letters* Vol. **13**, No. **12** はオゾン・ホールの特集号です。

4年毎のオゾン・シンポジウム開催のお知らせ

IAMAP の国際オゾン委員会主催の4年毎のオゾン・シンポジウムが1988年8月8~13日に西ドイツの Göttingen において開催される事が決まり、first circular が配布されました。次のような題目を取り上げる予定です。

- ① 観測技術の最近の発展
- ② 地上および衛星観測の解析
- ③ 化学-放射-力学モデル
- ④ 関係する微量成分の観測とその収支
- ⑤ 化学反応係数と吸収断面積の実験室内での測定
- ⑥ オゾンと循環との相互作用
- ⑦ オゾンと気候
- ⑧ 対流圏オゾン

⑨ オゾン層の自然および人為的擾乱

このシンポジウムの詳細を知りたい方は、国際オゾン委員会の委員である清水正義氏（舞鶴海洋気象台）に問い合わせられたい。また、second circular を希望される方は下記に連絡されたい。

Dr. Rumen D. Bojkov
 Secretary International Ozone Commission
 Atmospheric Environment Service
 Downsview, Ontario
 M3H 5T4
 CANADA

(文責 山元龍三郎)